

大楽毛、桜ヶ岡、春採などの支所の廃止を計画

令和2年度の市役所、支所などの窓口取扱状況

	戸籍・住 基・印鑑 等の届出・ 証明	諸税の収 納	その他の 収納	市税等の 証明	その他の 申請等	計
市役所戸籍住民課	156,586			2,464		159,050
西郵便局	1,575					1,575
阿寒町行政センター	3,155	1,254	1,582	489	1,422	7,902
音別町行政センター	1,810	2,561	821	284	153	5,629
鳥取支所	45,662	6,789	7,663	6,574	183	66,871
鳥取支所分室	4,556					4,556
桜ヶ岡支所	8,856	4,634	4,159	781	19	18,449
春採支所	10,273	3,699	3,295	1,226	15	18,508
大楽毛支所	10,689	1,935	2,089	1,703	62	16,478
阿寒湖温泉支所	1,159	496	1,070	101	1,590	4,416
計	244,321	21,368	20,679	13,622	3,444	303,434

西郵便局はマイナンバーカードがなくても住民票の交付が受けられましたが、この業務委託の終了も、すでに決まっています。

先日、釧路市から議会各会派の代表者へ、2022年度2月末をもって、大楽毛、桜ヶ岡、春採の3か所の支所と、「コアかがやきに併設されている鳥取支所分室を廃止する意向であることが伝えられ

ました。旧イトーヨーカ堂駐車場の鳥取支所は廃止対象に含まれていません。支所の廃止は、地域住民の利便性を著しく損なうもので、到底賛成することはできません。

今回のことは、市民サービスを大幅に削ると同時に、市役所職員、特に非正規職員の大幅削減をねらったものです。マイナンバーカードを使えば、コンビニで証明書の発行ができるから支所は必要ないとばかりに廃止。マイナンバーカードの普及を振りかまわず進めようとの意図も見えてきます。支所は市役所が遠くに行けない人の公的サービスを担っています。マイナンバーカードを持っていない人には、本当に大変なしわ寄せです。

総選挙が終わって、石川明美さんから談話が寄せられましたので紹介します。

みなさん、総選挙ごころうさまでした。「安倍・菅政権を許さない」この九年間のみなさんの思いに伝えるために「北海道の比例で必ず議席を奪還する」、このことの思いで私は取り組んできました。しかし、比例での議席獲得に至らず、改めて小選挙区比例代表選挙の難しさ、そして自力不足を思い知らされました。

もう一方の「市民と野党共闘」では、62選挙区で勝利し、32選挙区できん差の選挙。北海道では、12選挙区中5選挙区で勝利し、2選挙区できん差となるなど最初のチャレンジとして大きな前進でした。しかし、「市民と野党共闘」は多くの課題を残しました。自民党は過半数を維持したとはいえ、政権の座から降ろされるかもしれないという厳しい認識のもと、「野党共闘」への攻撃と政権への執念にはすさまじいものがあります。

自公政権とその補完勢力による新自由主義的政策は多くの国民に「苦難」を押し付けています。その「苦難」は待たれてくれません。だからこそ私たちは来夏の参院選で勝利し、衆参ねじれ国会にすることが必要です。そのため引き続きみなさんとともに力をつくす決意です。そして、共闘の要であり、ブレない日本共産党へのご支持を広げていただくためにも、しんぶん赤旗を多くの方にお勧めしていただくことをお願いいたします。ご支援本当に有難うございました。

石川 明美

